

# 令和6年度第7回和田区地域協議会 次 第

日時：令和6年12月18日（水）午後6時30分～  
会場：ラーバンセンター 第4研修室

## 1 開会

## 2 自主的な審議

- (1) 勉強会「和田区の沿革、地域の特性について」  
講師：「和田のあゆみ」編集委員 齊川 哲夫 様

- (2) 自主的な審議の進め方について

## 3 事務連絡

## 4 閉会

【次回協議会 1月22日（水）午後6時30分～：ラーバンセンター】

【次々回協議会 2月19日（水）午後6時30分～：ラーバンセンター】

## 和田区の歴史と和田村の成立

### I、古代・中世

越（古之）国が歴史に出てくるのは「日本書紀」「欽明天皇五年（544）越の国の報告」です。

古事記では奴奈川姫の所で「古志」と出てきます。

そして、越後（古之乃三知乃之利）国は、文武元年（697）「越後の」で歴史に出てきます。

頸城郡は、始めは越後国でなく越中国に属していました。その頃の越後と越中の境は阿賀野川でした。

大宝2年（702）年の律令制（大宝律令）で国郡制が施行されると越中国から頸城・魚沼・古志・蒲原の四郡を越後国に移され「越後国頸城郡」が誕生しました。

古代・中世、頸城郡の下に「郷」が在りました、和田地区にも栗原郷・板倉郷・今泉郷（原木郷は比定されていない）などが出てきますがその範囲は定かではありません。

### II、近世

江戸時代にも「郷」が出てきますがこれは、近世郷村制における行政単位の組村制の「組」のことで、古代・中世の郷とは意味が異なります。

江戸時代の郷は、この組の名称を中世的な名「郷」を使用したものです。和田地区には「大崎郷」「上板倉郷」「下板倉郷」がありました。

#### ○文化7年（1810）和田村村名と郷別

「大崎郷」 高田新田・荒町村・脇野田村・今泉村・土合村

七ヶ所新田村・田中村・石沢村・栗原村柳井田村 10ヶ村

「上板倉郷」 国賀村・月岡村 計2ヶ村

「下板倉郷」 上百々村・広島村・木島村・島田上新田村・島田村・島田下新田村

寺町村・上箱井村・中箱井村・下箱井村・岡原村・下新田村・五ヶ所新田村・丸山新田村 計14ヶ村

\* 新田村と古新田： 堀検地の時無く、天和の時立村した村を「新田村」、堀検地の時の新田を「古新田」と名づけられました。

### III、近代（和田村の誕生）

明治になると、廃藩置県で高田藩は高田県に、越後国は廃止され高田藩を含む12の県が

誕生します。

その後再編が繰り返され、明治 19 年に今の新潟県が確定しました。

頸城郡は明治 12 年に東頸城郡、中頸城郡、西頸城郡に分割され和田地区は中頸城郡となりました。

その後、明治 22 年に「市制・町村制」が施行され、和田地区は板倉村・大和村・大倉村・国明村の四つの村に再編されました。

今までの「村」は大字（オオアザ）に改められました（たとえば大倉村大字石沢です）

#### ○下板倉村

広島村 木島村 島田上新田村 島田村 島田下新田村 上箱井村 中箱井村 岡原村  
下箱井村 五ヶ所新田村 丸山新田村 下新田村 12ヶ村

#### ○大和村

高田新田村 荒町村 脇野田村 今泉村 土合村 七ヶ所新田村 6ヶ村

#### ○大倉村

石沢村 寺町村 西田中村 柳井田村 4ヶ村

#### ○国明村

栗原村 月岡村 国村 上百々村 4ヶ村

その後、明治 34 年の町村合併で下板倉村・大和村・大倉村・国明村の 4ヶ村が合併和田村が誕生。

## IV、現代（高田市、そして上越市へ）

昭和 29 年国賀 栗原 柳井田 月岡が新井町と合併し新井市となりました。

昭和 30 年広島、上百々が新井市と、其の外の大字は高田市と合併、和田村が解村となり歴史を閉じました。

昭和 46 年、高田市と直江津市が合併上越市となり、平成 8 年の大和地区住居表示の変更で今泉・荒町・高田新田・茶屋町・土合・七ヶ所新田・脇野田の表示は大和 1 丁目～6 丁目に再編されました。

## V、和田村誌にみる「和田村誕生」の経緯

#### ○明治 34 年 3 月 3 日

高田町「柳系郷」（仲町 2 にあった料亭）において

下板倉村 植木留次郎 他四名、大和村 長谷川八十郎 他 2 名  
大倉村 金子伊太郎 外 3 名、国明村 藤巻久助が会合し、4ヶ村は合併することを決めましたが、新村名は議論百出し、高南村

の名も出るなどしましたが決まりませんでした。

○明治 34 年 5 月 13 日

合併町村関係者が郡役所にて郡長立会の下、4ヶ村合併を調印。

#### ① 役場位置

新村の役場位置はなかなか決まらず、とりあえず石沢の明治天皇行幸の御小休所跡地に隣接の白津宅の 2 階を仮役場として事務を開始しましたが、役場を何処に置くかが大問題でした。

話の中で、上箱井の東付近、西木島の道路端、稲荷中江用水の突き当たりあたり、などと候補が出るも決まりませんでした。

石沢の現和田公民館の地に決まり新築開所したのは、合併から 18 年後の大正 8 年でした。

#### ② 村名

「和田村」の名に歴史的事実はありません。

4ヶ村有志中頸城郡長 渡辺新吉 下板倉村長 鈴木文太 国明村長 藤巻久助 大和村助役 水谷與三 大倉村助役 横田惣太郎の協議の中で偶然に考案されたものでした。「田」の付く村が多かったことから、頸城平野の真ん中に瑞々しい稲穂波打つ「田」の中に村民相「和」して平穩穏やかな村を建設するを理想として付けられたそうです。

#### ③ 和田村の成立

同年 11 月 1 日

新村「和田村」成立、 村長 金子伊太郎

## VI、歴代「和田村長」一覧

初代	柳井田	金子伊太郎
2代	島田	鈴木文太
3代	国賀	饒村彬成
4代	栗原	内山平治
5代	東木島	藤本弥一
6代	島田上新田	笠原公明

## VII、高田市・新井町との合併による「和田村の解村」

昭和 29 年 11 月 1 日、新井町と合併新井市となる。

国賀 栗原 柳井田 月岡

昭和 30 年 2 月 1 日 新井市と合併 広島 上百々

昭和 30 年 2 月 1 日 高田市との合併

東木島 西木島 島田上新田 島田 島田下新田上箱井 中箱井 岡原 下箱井 下新  
田 五ヶ所新田 丸山新田 西田中 寺町 石沢 茶屋町 七ヶ所新田土合 今泉 脇  
野田 荒町 高田新田

和田区地域協議会 今後の進め方について（案）

1 勉強会の開催 ※11/20 決定

- ・自主的な審議のテーマに沿った内容
- ・「和田のあゆみ」から和田区の歴史講座など

2 地域独自の予算事業の活用促進

地域独自の予算事業とは...

地域の課題の解決や活力の向上を図るため、地域の団体等が行う公益性のある取組を対象に事業費の7/10（上限なし）を市が補助。

<対象となる取組>

- ・地域資源を活用した新たな収入源や雇用の創出等につながる取組  
（例：特産品開発、販売促進、就業促進、交流人口増など）
- ・地域での暮らしやすさにつながる助け合い等の取組  
（例：生活支援、郷土愛の醸成、人材育成など）

- ・和田区内の活動団体による地域独自の予算事業の活用を促進し、地域活性化を図る。

・R6 年度 区別当初予算額の状況

（千円）

区	件数	金額	区	件数	金額	区	件数	金額	区	件数	金額
和田	2	578	三郷	6	2,672	谷浜桑取	3	762	頸城	10	9,044
高田	17	8,363	高士	8	3,648	安塚	3	2,363	吉川	7	5,615
新道	2	3,246	直江津	9	5,531	浦川原	6	2,631	中郷	8	8,179
金谷	6	4,376	有田	4	4,203	大島	3	1,692	板倉	6	10,537
春日	8	2,415	八千浦	2	1,268	牧	12	4,892	清里	4	3,959
諏訪	5	1,922	保倉	4	1,018	柿崎	7	6,962	三和	10	15,772
津有	5	2,589	北諏訪	5	891	大潟	6	5,460	名立	12	5,689